

## NPO法人ブラストビート代表理事

# 松浦 貴昌さん



### 働くことは遊ぶこと。遊ぶ感覚を持ち続けたい。



まつうら たかまさ

落ちこぼれのいじめられっ子から16歳でバンドに目覚め、全国ツアーやDVD・CDリリース経験し、26歳の時、家庭の事情でビジネスの世界に転身(経験職種は30以上)、大前研一のアタッカーズビジネススクールを受講し、バンド脱退して14ヶ月間後に、マーケティング会社「(株)フィールビート」を起業。その傍らでカンボジアやフィリピンで国際協力活動を始める。2009年8月からNPOブラストビートを代表として立ち上げ中。



高校生や大学生などがチームを組んで音楽イベントをプロデュースし、実際のビジネス同様の経営者感覚を養いながら利益の一部を寄付するプログラムを通して、ビジネスと社会貢献を同時に経験できる活動をサポートするのが、NPO法人ブラストビートだ。もともとは海外で始まったブラストビートを日本に持ち込んだのは、現在代表を務める松浦貴昌さん。彼自身、中学2年生の頃から実に20種類以上の職業を経験しているのだが、仕事で辛い壁にぶち当たった時の心の支えとなったのが大好きなバンド活動だった。「目標があったから頑張れたのかな」と語り、どんなときでも人生を楽しもうとする前向きなエネルギーに満ち溢れた松浦さんにお話を伺った。

学生になると、ゲーセンとか行きたかったから新聞配達でお小遣いを貯めたんだ。」

「高校時代はバンドに熱中されていたそうですが、始めたきっかけは何ですか?」

「高校に入学したとき、友達から『ベイスが足りていないからやってくれないか?』と誘われて。やることないし、まあやってみるか!と軽い感じで始めたのがきっかけ。最初のうちは遊びでやっていたんだけど、最後はアカデミックな音楽理論も学んだり、ちゃんとやったよ。」

高校卒業後は在学中にアルバイトをしていたバン屋に就職し、仕事と並行してバンド活動も継続。仕事が終わると夜中までバンド練習、帰宅後はほぼ睡眠をとらずまた早朝に出勤という生活を送っていたところ、勤務中に過労で倒れてしまった。このことをきっかけに、仕事を辞め、フリーターとしてバンドマンを続けることを決意した。

「フリーターバンドマン時代はどうでしたか?」

「21歳の時に親と喧嘩をして勘当されたんだ。勢いで家を飛び出しお金もなかったから、効率よくお金を稼げるバイトをしつつ、なんとか生きながらえた。もうこんな生活嫌だと思っただけ。だって、働くのを投げ出したら住む場所も食えるものもなくなってしまうから暮らせない、っていう状況だったから。ただバンドだけは楽しい時間だった。絶対にメジャーデビューするんだ!っていう目標があったから頑張れたのかな。バンド活動が順調に進んで行き始めたころ、父親から突然電話があった。2年前から父親が経営していた会社の運営がうまくいっていないと、いよいよダメだということだった。『お前は東京で好きなことをやっているといい』と言われてたけど、その時、今まで家族に何の恩返しもせずに、俺はなんて好き勝手なことをずっとやってきたんだらう、って思った。そこで、いろいろ悩んだけど、一旦バンドを辞め、就職活動をしてビジネスの世界に入る決断をした。」

「そこからの就職活動は大変でしたか?」

「最終学歴は高卒で、何年もひとつの会社で働いた実務経験もなく、アルバイトとバンドしかやってこなかったから履歴書は真っ白。履歴書を書いて出しても、面接さえ受けさせてもらえない。やっと面接まで進めても、話を聞いてもらえず鼻で笑われて、もう帰っていいよって言われたこともあったりと、すごく悔しい思いをしたね。でも運よく人員が足りていない会社があって、採用してもらえたんだ。この機会を逃してなるものかと思っただけ、社員の人にビジネスのことをいろいろ教わって、家に帰ったら食事もそこそこ深夜まで本を読んで自力で勉強。同じ年数生きているけど、大学を出たり就職をしている人たちは仕事を理めるためには人の何倍も努力するしかない、と思っただけに思っただけで、自分でも勉強するだけではないと思っただけで、ビジネススクールに通ったのもこの時期だね。」

やがて、当時通っていたビジネススクールの社員に見込まれ、スクールに通いながら勤務することになり、バンドを辞めてから14か月後に起業。2009年7月、海またま帰宅してつけたテレビで流れていた、海外でのブラストビートの取り組みを伝える番組を見たとき、涙を止めることができなかった。すぐに本部の代表に連絡を取り、日本のブラストビート立ち上げを直談判した。自分自身が高校の

## 音楽×ビジネスで、被災地に力を!

### 震災の支援にユニークな形で挑戦する人、募集

アイルランド発、日本で5か国目に広がったNPOブラストビートが、震災の支援にユニークな形で挑戦する高校生、大学生などを募集。音楽ライブをビジネスとしてプロデュースし、その利益を自分たちが応援したい活動に寄付するもので、第一線の社会人がサポートします。

詳しくは  
PCなら<https://bit.ly/f4b2iq>  
携帯なら<https://bit.ly/eQ998>  
をチェック!  
問合せ:info@blastbeat.jp

「働くことは遊ぶこと。遊ぶって子どものころにやっていた遊びを思い出してほしいんだけど、子どもの遊びって手を抜かないじゃない。楽しくて、とにかく集中してつきつめてやっていたと思う。仕事もそうであればプロフェッショナルになれる。いいなって感じる人に共通しているのは、子どもみたいな心から笑ったり楽しんだりしているところなんだよね。仕事をする上で遊ぶ感覚とこの心を持ち続けられたら絶対成果は出せると思う。」

「動くことって何ですか?」

「基本的にはやりたいと希望する子が集まっていって、やるって言った以上やらなきゃいけないって思うんだらうね。みんな必死になっていい仕事をする。必死になった瞬間に人が変わるという現象が起こる。どうしたらこの壁を乗り越えられるんだらう、ああも私なんか大嫌い!と自分を責めたりするけど、最終的には自分自身を越えていく。」

「現在ブラストビートに参加している学生の姿を見てどう思いますか?」